

ITの訓練を通して自己理解を深め、仕事の基本スキルを身につけることで、自分に合った就労を目指す。



入校前

働くことに対する不安

- ・ 障害を開示せず(クローズ)就労したが続かず、次は障害者求人で就労したい。
- ・ 仕事をしていない期間があり、社会復帰することに不安がある。
- ・ 就労経験がなく、就職活動をどのように進めればいいかわからない。
- ・ 自分の障害特性で、どのように働いていけばいいかイメージできない。

障害者雇用で、まず求められることは、
自身の特性をきちんと理解しているか（自己理解）です。



指導員



面接

（自分のことをよくわかっていない…）



△△が苦手ですが、〇〇はできます。
苦手なことは、□□で対応しています。

✗ どんな人かわからない人を企業は採用できない。



自分にできること、できないことが明確であれば、企業は特性に応じて、仕事を頼むことができる。



訓練を受ける

ITシステムサポート科の訓練 3つの方針

自己理解

自分を知る

訓練を通して、自身の障害特性（得意なこと、苦手なことなど）を知り、自分に合った就労を目指す。

仕事基本スキル

仕事の基本スキルを身につける

どのような仕事にも必要な「考える力」「協働する力」などを身に付け、仕事の基礎力を高める。

IT専門スキル

ITの専門スキルを身につける

どのような業種・職種でもITが用いられるため、ITの基本を学ぶことで、人材の価値を高める。

修了後

- ・ 自分に合った働き方で
- ・ 自分の能力を活かして

就職



主な訓練科目

IT関連	1. ITパスポート試験対策
・	2. 日商PC検定対策
PC関連	3. Web制作実習
	4. ネットワーク実習
	5. システム開発実習
社会生活	6. 社会生活スキル演習
就職	7. 就職対策演習



未経験でも心配ありません。
基礎からじっくり取り組みます。



1. ITパスポート試験対策

訓練の目的：ITの基礎的な知識を習得する。

目標資格：ITパスポート試験

ITを活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験。



講義を聞く



繰り返し問題を解き
知識を定着させる

問題サンプル：平成30年春期 問66

PCで電子メールの本文に記載されていたURLにアクセスしたところ、画面に図のメッセージが表示され、PCがロックされました。これは、何による攻撃か。



このPCをロックしました。ロックの解除には、パスワードが必要となります。パスワードを知りたい方は、48時間以内に振込みをしてください。お支払いいただけない場合、解除することができなくなります。お支払方法は以下のとおりです。

選択肢 ア：キーロガー イ：スパイウェア
 ウ：ボット エ：ランサムウェア

2. 日商PC検定対策

訓練の目的：Officeソフトの基本操作、ビジネス文書、データ集計などの知識を身に付ける。
・指示通り正確に作業する力を身に付ける。

Word
Excel
PowerPoint
の基本操作

+

ビジネス文書など
実務に必要な知識

目標資格：日商PC検定（文書作成・データ活用）3級
商工会議所が主催するパソコンスキルの検定試験。パソコンの操作ができるだけでなく、パソコンを活用して仕事を進める力が求められる。

個別課題の進め方

- ① 指示を受ける
- ② 進捗をタスク表で管理する
- ③ 報告する

番	課題	学習ドリル進捗	完了日
第1課 企業と法務	1-1	100%	4/20(木)
	1-2	100%	5/10(水)
	全課～3年度		5/15(日)
第2課 経営戦略	2-1	100%	
	2-2	100%	
	2-3	84%	
全課～3年度			
第3課 システム戦略	3-1	43%	
	3-2	50%	
	全課～3年度		

タスク表

ねらい

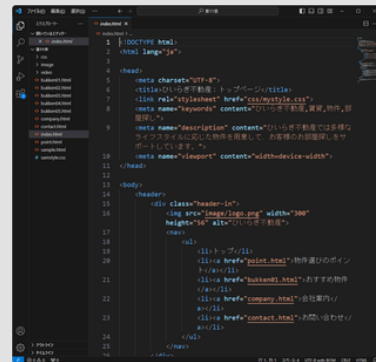
- ・能力に合わせて自分のペースで取り組む。
- ・自分でスケジュール、進捗を管理する。
- ・指示を受ける、報告、連絡、相談する習慣を身に付ける。

3. Web制作実習

訓練の目的：Web制作に必要なHTML・CSSの基礎知識を身に付ける。
・指示通り正確に作業する力を身に付ける。

課題サンプル：HTML

参照：『よくわかるHTML5&CSS3ウェブサイト構築の基本と実践』富士通エフ・オー・エム



HTML・CSS



実際のWebページ

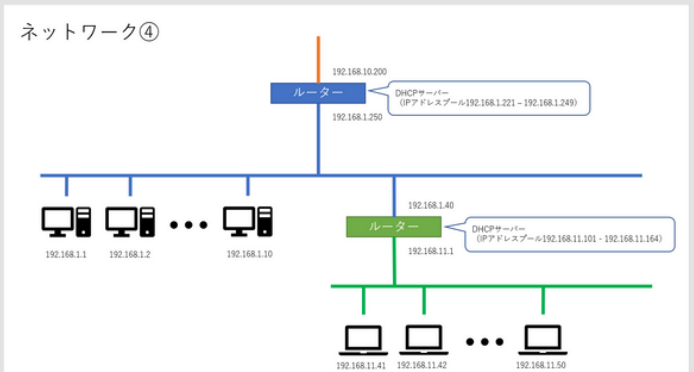
4. ネットワーク実習

訓練の目的：ネットワークの基礎知識を身に付ける。
・問題を切り分ける力を身に付ける。

訓練の内容：

- ① 実際の機器を用いて、構成図通りの簡易ネットワークをグループで構築する。
- ② 通信トラブル発生時に、原因の見つけ方と対処法を学ぶ。

課題サンプル：ネットワーク構成図



5. システム開発実習

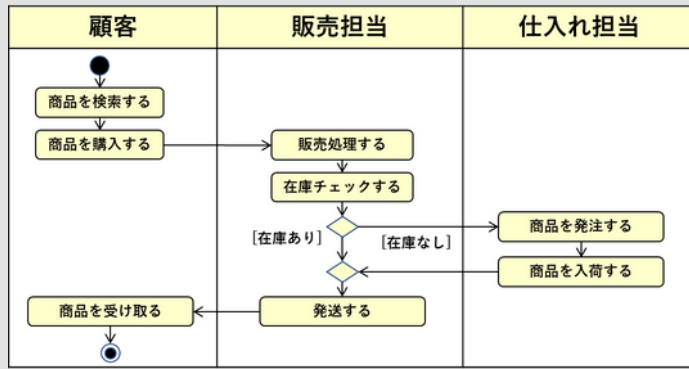
- 訓練の目的：・システム開発の一部を体験する。
 ・**ものごとを図で整理する力**を身に付ける。
- 訓練の内容：・業務内容が書かれた文章からアクティビティ図（業務の流れを示す図）を作成する。
 ・ソフトウェアが想定通り機能するかを検証（テスト）する。

課題サンプル：アクティビティ図

Webショッピングシステム

顧客は商品を検索し、購入すると、販売担当は販売処理をして在庫チェックをします。在庫がなければ仕入れ担当は発注、入荷をします。次に、販売担当は商品を発送し、顧客は商品を受け取ります。

↓ 文章から図を作成することで「誰が」「何を」を明確化



グループ課題の進め方

- 3人以上が1台のPCの前に座り、意見を出し合いながら問題を解決していく。
- ねらい：・ **他の人と協働して仕事を進める力を養う**
 ・ **メンバー同士で知識やノウハウを共有する**



チームで意見を出し合いながら、皆で楽しく課題をクリアしていきましょう。



指導員

6. 社会生活スキル演習

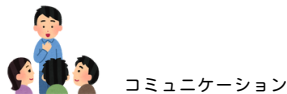
- 訓練の目的：
 ・ビジネスマナーや仕事の進め方など、社会生活で必要な力を身に付ける。
 ・ **自己理解を深め、他者に伝える力**を身に付ける。

- 訓練の内容：
 ・ビジネスマナー、仕事の進め方など社会人としてのふるまいを学ぶ。



ビジネスマナー

- ・考えを書き出す、話すことで頭の中を整理するとともに、コミュニケーション力を養う。



コミュニケーション

- ・マインドマップを作成することで、頭の中にあるものを見える化し、整理する。



マインドマップ

他の訓練生や指導員との対話の中で、自己理解を深めていきましょう。



指導員

7. 就職対策演習

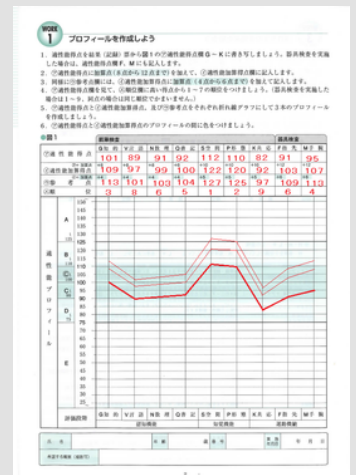
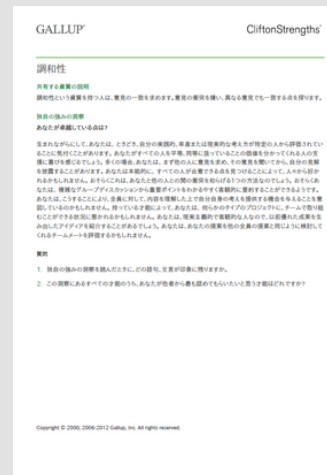
- 訓練の目的：・ **自分に合った就職先を見極める。**
 ・ **自分の障害特性、配慮事項を企業に伝える力**を身に付ける。

- 訓練の内容：
 ①自己分析
 アセスメントツールを用いて自己分析を行う。
 ②求人検索
 アセスメントの結果をもとに自分に合った求人を探す。
 ③応募書類作成・面接練習
 自分の特性、配慮事項を応募書類に記載し、企業に伝える



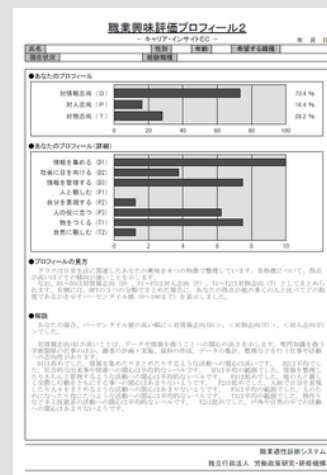
アセスメントツール

ここでの「アセスメント」は、「評価する」という意味よりも「就労を支援するために必要なニーズや課題等を明らかにし、必要な支援や配慮を検討する」という意味で用いている。



- ①クリフトンストレングス・テスト
 自分の中の最も特徴的な才能や強さを導き出す。

- ②一般職業適性検査（GATB）
 言語能力、数理能力、空間判断力、指先の器用さなど9つの適性を測定する。



- ③キャリアインサイト
 職業選択に役立つ適性評価、適性に合致した職業リストが参照できる。



- ④就労支援のためのアセスメントシート
 訓練生の希望、現状などを書き出し、長所や課題を整理する

自分に合う企業に就職するために、まずは自分を知ることから始めましょう。



指導員

想定する訓練生のイメージ

● 自己理解 ● 仕事基本スキル ● IT 専門スキル

Aさん 32歳

障害名：うつ病

前職での長時間労働の結果、うつ病を発症する。症状が落ち着いてきたため、社会復帰したいと思っているが、休職期間が長く、働き始めることに不安を感じている。



↓ 訓練を通して..

- 1日6時間であれば継続して働けることがわかった。
- 得意だった整理整頓が、強みになることがわかった。
- 資格試験に合格し、自信がついた。
- ITの基本的な知識を習得した。
- Word、Excelを習得した。

↓ 就職

職種：事務補助
パートタイム
(1日6時間)



Bさん 23歳

障害名：自閉スペクトラム症 (ASD)

今まで働いた経験がなく、就労のイメージができない。障害者求人を探そうと思っているが、自分に何が向いているのかもわからず、就職活動もどのように進めていいかわからない。



↓ 訓練を通して..

- アセスメントツールでデータ入力の適性があることがわかった。
- ビジネスマナーや報連相など仕事の基本を習得した。
- コミュニケーション力が向上した。
- PCの入力作業が、素早く正確に行えるようになった。

↓ 就職

職種：データ入力
フルタイム



Cさん 27歳

障害名：注意欠如・多動症 (ADHD)

今まで障害を開示せず(クローズ)就労したが、仕事が続かず転職を繰り返している。自分自身では長く働きたいと思っているが、なぜ続かないかわからず困っている。



↓ 訓練を通して..

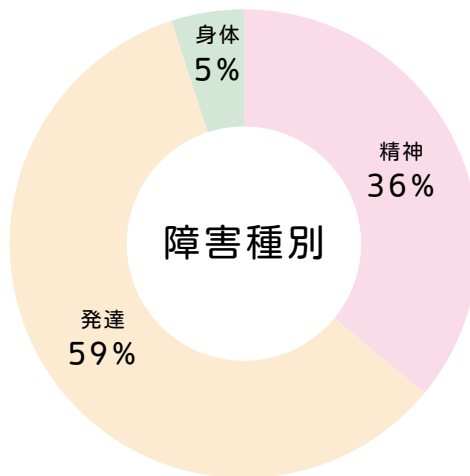
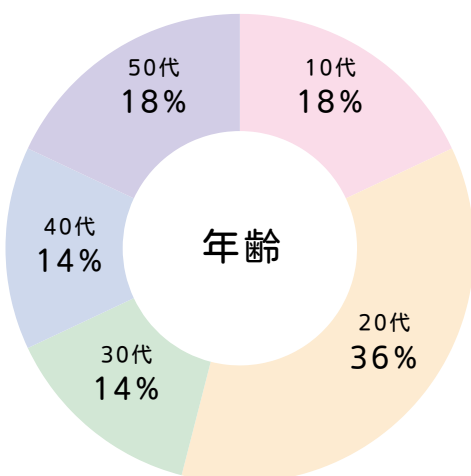
- 複数同時作業(マルチタスク)が苦手だが、一つずつの指示であれば正確に作業できることがわかった。
- 自分の特性を理解し、障害を開示(オープン)して就職活動を行った。
- ビジネスマナーや報連相など仕事の基本を習得した。

↓ 就職

職種：軽作業
フルタイム



訓練生の内訳 (令和3年度～令和5年度修了生)



訓練生の年代は、10代から50代まで幅広いです。障害種別は、精神障害、発達障害、身体障害と様々な人が訓練に取り組みられています。いろいろな人と同じ教室で訓練に取り組むことは、「他者への理解」「自分の理解」に繋がります。



就職先の内訳 (令和3年度～令和5年度修了生)

